

「第17回文化庁メディア芸術祭」受賞作品

平成25年度〔第17回〕文化庁メディア芸術祭におけるフランス人アーティストの快挙

2013年12月5日、「第17回文化庁メディア芸術祭」の受賞作品が発表されました。

本年度は11名のフランス人アーティストが名を連ねています。

文化庁は1997年（平成9年度）より「文化庁メディア芸術祭」を開催し、アート、アニメーション、マンガ、エンターテインメントの4部門において、優れたメディア芸術作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供しています。本年度は、世界84の国と地域から4,347点の作品の応募があり、メディア芸術の国際的な定着が窺い知れます。2013年より、アンスティチュ・フランセ日本が主催するデジタル・カルチャーのフェスティバル「デジタル・ショック」は、「文化庁メディア芸術祭」の協賛事業として開催しています。2012年（平成24年度）には、アンスティチュ・フランセ日本主催の「読書の秋2012」にてご紹介した、フランソワ・スクイテンの『闇の国々』がマンガ部門の大賞を受賞しています。

2014年「第3回デジタル・ショック」も、「文化庁メディア芸術祭」の協賛事業として開催いたします。

「第17回文化庁メディア芸術祭」公式サイト：<http://j-mediaarts.jp/>

「第17回文化庁メディア芸術祭」に選出された11作品：

【アート部門】

- ピエール・カルニオー／ティエリー・フルニエ | 『ラストルーム』／『デプリ』

本作品は、2014年「第3回デジタル・ショック」の公式プログラムとして企画されており、「文化庁メディア芸術祭」への応募を推奨しました。

- アイメリック・マンソー | 『The SKOR Codex』

新人賞受賞。「第17回文化庁メディア芸術祭」にて紹介される予定です。

- ローラン・ミニョノー | 『Excavate』

- マチュー・ベルナル＝レイモン | 『Trades』

【アニメーション部門】

- ユン／ローラン・ボアロー（ベルギー／フランス） | 『はちみつ色のユン』

大賞受賞。

- オード・ダンセ／カルロス・デ・カルヴァロ | 『Premier Automne』

- ヴィクトール・エジュラン | 『Professor Kliq - Wire & Flashing Lights』

【マンガ部門】

- バステアン・ヴィヴェス／訳：原 正人（フランス／日本） | 『塩素の味』

- フランソワ・スクイテン | 『ラ・ドゥース』

ベルギーのバンド・デシネ作家。アンスティチュ・フランセ日本主催、2013年「第2回デジタル・ショック」での紹介作品。

【エンターテインメント部門】

- 『DOCKYARD PROJECTION MAPPING / YOKOHAMA ODYSSEY』

ポール・ラクロワ（フランス）を含む日仏共同制作チーム。

プレス担当

シリル・コピーニ TEL : 03-5798-6321 メール : cyril.coppini@institutfrancais.jp www.institutfrancais.jp